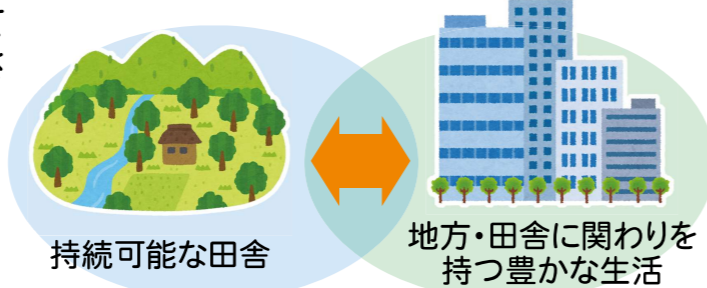


震災により、人口減少の加速が懸念されています。地域の活力を維持向上させるため、関係人口の拡大に向けて「二地域居住モデル(石川県特定居住者等登録制度)」が検討されています。

石川県内の地域と二地域居住を行う方、復興のために活動をする方等に、石川県が「第2の住民票」を交付します。交付された方は、県による居住場所の確保や仕事環境確保の優遇や支援を受けられます。他にも、教育や医療サービス、公共交通の住民割引の対象、二拠点間の移動負担への支援など様々な住民サービスを受けられる仕組みです。納税していない地域で住民サービスを受けることの後ろめたさが無くなるよう、ふるさと納税を推奨し、石川県民として生活していただく方針です。

他にも課題はありますが、過疎化が進む地域の関係人口拡大に繋がる制度となるよう、制度設計が考えられています。



TOPIX 北陸新幹線県内全線開業(令和6年3月16日)

3月16日、北陸新幹線が県内全線開業しました。停車駅の小松駅、加賀温泉駅では盛大なセレモニーが開催され、大きく盛り上がりました。小松駅はビジネスや小松空港との連携を考慮したダイヤ、加賀温泉駅は観光客を考慮したダイヤとなっています。経済や観光交流、関係人口の増加が見込まれます。敦賀から大阪までも、早期開業を目指したいのですが、環境影響評価手続きの遅れなどにより、着工の目途が立っていません。このことから、工期が短く費用の少ない米原ルートを再考する意見もあります。



トレインパーク白山 展望台より撮影

【米原ルートの課題】

- ・東海道新幹線は過密ダイヤで乗り入れが難しい。米原で乗換が発生する。
- ・運行管理システムや脱線逸脱防止対策が異なる。
- ・所要時間が伸びる(約20分)、運賃が上がる。

ボランティアスタッフ募集中! イベント、送付物封入発送、ポスティングなど、お手伝いして下さる方を募集しています。都合の良い時間だけで構いません。お手伝いは、不定期です。作業の発生都度、お手伝いの相談をさせて頂ける方を募集しています。お願いできる方は、事務所にメール/電話をお願いいたします。

特殊詐欺にご注意!

その電話、その手紙、本当ですか?

種別	件数	被害額(千円)
オレオレ	12	39,430
預貯金	1	1,500
架空請求	17	41,314
還付金	18	19,693
キャッシュカード	1	1,000
合計	49	102,938

オレオレ詐欺や架空請求の被害が続いています。令和5年、石川県では115件、2億円以上の被害が発生しています。おいしい話には裏があります。お金に関することは、家族や親しい友人、太郎田、警察相談窓口(電話 #9110)に相談しましょう。通常、急にお金がもらえる、支払わないといけない、といったことはありません。

令和6年6月末現在

ご注意 「自宅の固定電話が危ない!」

防犯機能付き電話機を導入しましょう!

緊急の電話は110番
相談の電話は#9110



お困りごとやご相談は、
ご遠慮なく電話や
FAX・メールで
ご連絡ください。



石川県議会議員

太郎田まり

〒920-0912
金沢市大手町9-30 トミタビル201
TEL: 076-224-5501
FAX: 076-224-5502
Mail: ishikawa@tarouda-mari.com

Mari's Voice



2024年
夏号

発行: 太郎田まり事務所 金沢市大手町9-30 トミタビル201 討議資料

新年を祝うはずが、能登半島地震により思いがけない年明けとなりました。お亡くなりになった方にご冥福をお祈りするとともに、被災された方に心よりお見舞い申し上げます。また、住民同士での協力、避難所運営、ボランティア、自衛隊、消防、警察、自治体職員他、皆さまのご協力ご支援に感謝申し上げます。

太郎田も、炊き出しや音楽ボランティアを通じて、被災地の現状と被災者の声を聞いており、県庁担当部署へ対応を依頼したり、議会で現状を伝えております。

災害対応にはスピードが必要です。今回は、発災直後に県庁内に「ミニ霞が関」が設置され、大臣同等に権限を持つ高官が常駐し、的確なニーズの把握と、関係省庁との連絡体制が整い、岸田総理も迅速な判断が出来たとコメントがありました。国との連携ができた点は今後の災害対応にも有益であり、評価できる点と考えています。

これからの復興段階においては、生活環境の変化によるストレスなどから、心の病を抱えてしまう方もいらっしゃると思います。県では、ソーシャルワーカーによる見回り等を通じて、被災者さんが孤立しないよう取り組んでまいります。皆さまのご無事を心よりお祈り申し上げます。

ご支援ありがとうございます。

石川県議会議員 太郎田真理



TOPIX 高市早苗大臣よりメッセージをいただきました!

太郎田議員には自民党内の勉強会に参加していただき、地方から日本を明るくする崇高な志と、地域課題や住民サービス向上に対する努力に心から敬意を表します。

私は、理念の一つに「大切なものを守り抜ける国を創る」を掲げています。国民の皆様生命と財産、領土・領海・領空・資源、国家の主権と名誉を守ることは国の使命です。

令和6年能登半島地震においては、甚大な被害がありました。復興基金も新設し、被災地の創造的復興に全力で取り組んでまいります。また、「世界最高水準の安全を担保すること」を目標に、「リスクの最小化」に資する制度設計にも取り組んでまいります。

太郎田議員の今後の活躍に、期待しております。引き続き皆さまのご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

経済安全保障担当大臣 高市 早苗



議会だより

令和6年5月定例会において、補正予算(1,301億円)を審議、可決しました。主に地震からの復興復旧、復興基金の創設等です。太郎田の質疑要旨についてご報告いたします。



被災者の一時宿泊や家財保管への支援について

自宅を離れて避難されている方が、片付けのために自宅に戻った際、自宅に寝泊まりできず日帰りで避難先との往復されている方がいます。移動に時間もかかり、ガソリン代も負担となっていました。能登6市町に確認したところ、被災者向けに、一時避難所で受け入れる体制をとっています。

家財保管については、コンテナの設置場所や防犯上の観点から、県が預かるのではなく民間サービス事業者の紹介にとどまっています。費用については、被災者生活再建支援金や臨時特別給付金などをご活用していただくこととしています。

傾聴ボランティア、ボランティア休暇制度について

被災者さんの心のケアとして、傾聴ボランティアは大切な存在です。今後、仮設住宅の見守りや交流の場においてニーズが高まります。NPO活動支援センターにおいて、ボランティア団体の連絡会を開催し、情報共有を図り、支援拡大に努めてまいります。

ボランティアは、自身の成長、企業にとってもイメージ向上などメリットがありますが、仕事の都合でなかなか参加できないのも現状です。企業の制度として「ボランティア休暇」を整備してもらい、ボランティアに参加しやすい環境づくりが必要です。商工会議所・商工会などとも連携し、周知を図ります。

避難所運営の検証について

初動段階から要配慮者や女性への配慮ができていたか検証が必要です。避難所運営の主体は市町ですが、県としても市町を支援して検証します。避難所の生活環境の改善に取り組みます。

検証委員会については、多様な意見を取り入れるため、県職員や国、市町関係団体、外部専門家等の方を選任する予定です。女性委員についても一定程度含まれる体制とします。

今後の災害に備え、ドローンポートの整備、トイレカーの導入、コンテナの活用が必要です。災害対応を検証する中で、市町とともに導入を検討します。

スクールロイヤーの導入について

学校教員の休職の理由として、保護者からの不当な要求(いわゆるモンスターペアレント)が一因とも言われています。教員が弁護士に相談できるスクールロイヤー制度は、他県で導入が進むものの、石川県では導入の予定もありません。教育長によると、教育委員会と教育行政に精通する弁護士に法務相談しているため、スクールロイヤー制度でなく対応しているとのこと。文部科学省では、弁護士の役割として、助言だけでなく保護者との面談への同席など、相談体制の整備や運用を検討しており、県は動向を注視するとの答弁でした。

県には「学校問題解決支援チーム」が設置されていますが、平成25年から相談実績が無いとのこと。問題に対して専門家に相談できる制度ができていないのか、早期解決のために早く動いてくれているのかが疑問です。学校現場の環境改善を引き続き求めてまいります。

石川県民の歌について

石川県民の歌の三番。「希望の日 明ゆくところ」これは、災害から立ち上がる県民の心を一つに結ぶ歌で、さらなる普及をすべきです。小中学校の音楽の授業や朝の会で歌ったり、県主催イベントで歌ったりしています。電話の保留音にするなど普段から耳にするような取組みも必要です。

歌詞・音楽ファイル
(県庁ホームページ)



(三番の歌詞)
日本海 北にひらけて
希望の日 明けゆくところ
いでゆわき 地はゆたかなり
この国土 いよよ栄えて
人の和に 世界を結ぶ
おおわが石川 歌いたたえん

～ 私には「声」がある「言葉」がある「歌」がある～



令和6年度は環境農林建設委員会の委員長を務めています



党本部で全国の女性議員と研究・勉強会

Mari's



Report



避難所で音楽療法 皆さんを元気に!



7月・被災地視察 仮設住宅もスピード感を持って建設しています



英霊に捧げる音楽奉納

能登半島地震復興の歩み

1月1日16時10分 マグニチュード7.6、最大震度7の地震が発生(震度5以上が12回発生)しました。これまでの対応と復興の歩みを振り替えます。今後、初動対応の検証委員会が設置され、避難のあり方や有効な支援策を検討したうえで、地域防災計画に反映します。

1月1日 能登半島地震発災

- ・災害対策本部の設置、各市町の避難所の開設(開設数(最大)404カ所、避難者数(最大)34,173人)(避難所へのトイレカーは総計22台が現地入り)
- ・自衛隊への災害派遣要請(人命救助、生活支援等)
- ・DMAT(災害派遣医療チーム)の立ち上げ・派遣

1月2日

- ・6市町に県職員リエゾン派遣、県庁から保健師の派遣
- ・専門ボランティア現地入り(ボランティア活動人数は12.2万人(1/1~6/23))

1月3日

- ・ふるさと納税代理寄付をスタート(全国7自治体)(令和5年度のふるさと納税額は約11億66百万円)

1月4日

- ・奥能登4市町を結ぶ救命活動・支援物資輸送ルートの確保(県管理道路で最大42路線87カ所通行止め)
- ・義援金の受付開始(義援金受入額:705億円余)(5/29時点での振り込み済み額84.5億円)

1月6日

- ・2次避難者の受け入れ開始(粟津温泉等)

1月8日

- ・1.5次避難所の受け入れ開始(スポセン)

1月12日

- ・応急仮設住宅の着工(輪島市・珠洲市にて)(6/27現在、櫃予数6,810戸、着工6,642戸、完成4,943戸。8月中の完成を目指す)

2月1日

- ・能登半島地震復旧・復興本部の設置

2月15日

- ・3月補正予算、令和6年度当初予算発表(地震対応7,718億円余(3月補正+当初予算))以降、2/27に91億円余、3/7に20億円余を補正

5月21日

- ・6月補正予算発表(地震対応393億円余)

5月31日

- ・水道の断水解消(発災直後16市町約11万戸で断水)

6月5日

- ・6月補正予算発表(地震対応559億円余、累計8,783億円余)

6月25日

- ・国から復興基金(特別交付税)の交付(520億円)

6月27日

- ・石川県創造的復興プランとりまとめ

隆起した海岸に仮設道路を建設



まだまだあなたの力が必要です!
ボランティアさんを募集しています。

詳細は特設サイトのご確認をお願いいたします。

